

残念ながら、

睡眠時無呼吸症患者が新型コロナに罹患したら・・・

2021年6月

中華人民共和国（以下、中共）の武漢から発生した新型コロナウイルスが世界中に撒かれて未曾有のバイオハザードとなりました。この大災害を引き起こした中共に、米国ミズーリ州が440億ドルの損害訴訟を起こし、各国が追従して総額およそ1京円の損害を請求するといわれております。しかし、中共と関連の深いわが国は欧米のようにできませんので、この損害を、東日本大震災の「復興特別所得税」のように国民ひとりひとりが負担することになるでしょう。その経済的負担を考えると、現下に施行されている政策が必要性的に薄い金銭ばらまき政策にならないことを祈るばかりです。

さて本題の、睡眠時無呼吸症と新型コロナの関連という話題に移りましょう。参考にしたのは2021年2月発行のSleep Medicine Reviewsという学術雑誌に掲載された「A systematic review of COVID-19 and obstructive sleep apnea」という論文です。結果は、

- (1)睡眠時無呼吸症の原因となる併存疾患があると新型コロナ肺炎による死亡率が高い
- (2)睡眠時無呼吸症の治療を受けていた患者（訳者注：治療が必要なほど重症な睡眠時無呼吸症患者）は新型コロナ肺炎の死亡率が高い
- (3)新型コロナは睡眠時無呼吸症の診断法や治療法の選択に影響するため新たな方法の模索が必要である

この(2)の結論に驚きましたが、彼らは「CORONADO」という追加研究で6月には詳細を明らかにすること、それまでは訳者注として説明したように理解したいと思います。

CPAPは機能的残気量を増加させ低酸素を生じ難くする作用があり、無症状や中等症以下の新型コロナ肺炎に使用されております。より自然な呼吸に近いマウスピースはさらに安全に使用できると考えております。